

修士課程卒業式祝辞

平成 28 年度数学・数理解析専攻
専攻主任 雪江 明彦

皆さん修士課程修了おめでとうございます。修論審査がおわり 1 ヶ月、皆さんも落ち着いて新たな生活に向けて準備されていることと思います。

私は日本とアメリカで何回か学位授与式に出席しましたが、とてもよいものですね。アメリカでは大学の学位授与式のことを commencement といいます。commencement というのは「開始」、何かの始まりという意味です。欧米のシステムがなんでもよいというわけではありませんが、私はこの言葉が好きです。それは、卒業するということ、これで終わりということではなくて、これからが人生の本番なんだという考え方だからです。

修士を終えて、博士課程に進む人もいれば、教員になったり役所、企業に就職する人など様々ですが、皆さんにとっては、これからが人生の本番でこれからが始まりなんだと思います。ドクターに進む方はもちろんこれから数学の本格的な研究に入ります。企業に就職される方はこれから必ずしも数学を直接使うわけではないかもしれませんが、数学で常にやってきた、抽象化や論理的な思考というものは、企業でもきっと役に立つのではないかと思います。

これからの世の中、必ずしもバラ色ではないかもしれませんが、今までつちかって来た力で、すごく成功しなくてもよいですから、人生を生き抜いていただきたいと思います。本日は大変おめでとうございます。